

# 「希望」の施策つぎつぎと!

## 坂本区長へ重点要望書を提出!

区議会公明党は9月27日、2017年度予算編成に関する重点要望書を提出しました。(写真)  
①いたばし版ネウボラの拡充と保育所待機児童の解消。②廃校跡地での防災拠点の整備。③障がい者への就労支援。④店舗補助金などの起業支援など383項目。坂本区長は「区民のために、しっかりと受け止め検討していく」と答えました。



## ●いたばし版ネウボラで親子支援!

「ネウボラ」とはフィンランド語で「アドバイスの場」の意味です。母子保健相談員が妊婦さんを面接し、心身状態や家庭状況などを把握した上で、必要なサポートを行います。出産した後も就学するまで継続して支援いたします。



## ●防犯カメラ設置で安心・安全!

◎板橋区立公園に平成28年10月1日現在、寄付による設置を含め27台設置されました。  
◎全区立小学校に防犯カメラの設置が決まりました。全区内公園にもカメラの設置にむけて取り組んでいきます。



## ●特定不妊治療の助成がスタート!

特定不妊治療と男性不妊治療にかかった保険適用外の治療費に対する助成で、治療ステージに応じて1回につき5万円または2万5千円を上限として助成されます。様々な要件がありますので詳しくは→女性健康支援センター ☎3579-2306までお問合せください。



## ●見守りキーホルダーで安心!

緊急連絡先や医療情報を登録、外出先で倒れた場合や認知症の方の徘徊などに安心です。65歳以上の方、若年性認知症で心配な方などが対象です。詳しくは→おとしより保健福祉センター ☎5970-1119までお問合せください。



# 私立高校授業料の無償化を 入学貸付の5万円増も提言。

都議会公明党は11月7日、都庁で小池百合子知事に対し、私立高校授業料の負担軽減に関する提言を行いました(写真左=たちばな正剛都議)。都内の私立高校の年間授業料は平均約44万円に上り、世帯の所得に応じて経済的な負担が生じることから、授業料の公私立間格差の是正が求められています。

都議会公明党は、私立高校に通う生徒のいる家庭の負担を軽減するため、①都独自の授業料軽減助成金(特別奨学金)の増額②都の入学支度金貸付制度の貸付限度額引き上げ(現在20万円→25万円へ)——を求めました。小池知事は、提言に理解を示し「しっかり検討していく」と述べました。

公明党は9月30日午前、東京都新宿区の党本部で中央幹事会を開き、東京都本部からの公認申請を受け、来年の東京都議会議員選挙(来年7月22日任期満了)へ向け、板橋選挙区は党板橋総支部長の橋正剛(たちばな・せいごう)氏を公認決定しました。



ごあいさつ  
皆様には日頃より都政へのご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。  
私はこれまで、一人の声を大切にして、命を守る政策や暮らしの安心をつくる政策に全力で取り組み、都政に反映してきました。今後もこの政治信条を貫いてまいる決意です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■略歴  
公明党東京都本部副幹事長、都議会公明党政調会長、党板橋総支部長、都議会議員3期  
●生年月日/1953年4月5日生まれ、63歳  
●学歴/山形県立酒田東高校、創価大学法学部卒業 ●職歴/1977年公明新聞入社、編集局政治部長、報道部長など歴任 ●議会経歴/都議会環境建設委員会委員長、財政委員会副委員長、総務委員会理事、オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会理事など歴任。現在、議会運営委員会理事、公営企業委員会委員  
●家族/妻、1女